

次期生涯学習推進計画の策定について

現行計画の体系			
基本理念	基本目標	施策	取り組み
誰もが生涯にわたって学び続けられ、個性を育むまち、きよす	市民の自主的な学びを活性化するために	生涯学習活動を活性化するために	生涯学習に関する啓発と情報発信
			生涯学習を学ぶ場の提供
			利用しやすい図書館づくり
			生涯学習に関わる団体への支援・育成
		文化芸術活動を活性化するために	文化芸術活動の啓発と情報発信
			文化芸術に触れる場の提供
			文化芸術活動に関わる団体への支援
			魅力ある美術館づくり
		文化を継承するために	地域の歴史・文化財保護の啓発と情報発信
			文化財の保護
			歴史資料の公開・展示
			朝日遺跡、清洲貝殻山貝塚資料館の啓発と情報発信
	誰もが活躍できる社会を実現するために	スポーツ活動を活性化するために	スポーツ・レクリエーション活動の啓発と情報発信
			スポーツイベントの開催
			スポーツ活動に関わる団体への支援
			国際理解の啓発と情報発信
		国際交流活動を活性化するため	国際交流の場の提供
			「国際交流」、「男女共同参画」は次期計画では記載を工夫する。
			団体への支援
			啓発と情報発信
		男女共同参画社会を実現するために	女性・若者の育成
			女性の社会参加等を推進する団体への支援
			家庭教育の啓発と情報発信
			学校・家庭・地域の連携強化
		青少年も活躍できる社会を実現するために	青少年健全育成に係る行事の開催
			青少年健全育成活動を行う団体への支援
			生涯学習を推進するために
生涯学習を推進する体制の整備			

次期計画体系(案)				
基本理念	基本目標	施策の方向	内容	成果指標
個性を育み、学びでつながるまち、きよす	自己を高める学びの充実 (まなぶ)	多様な分野での学びの充実	市民の幅広いニーズを把握し、子どもから高齢者までのあらゆる世代の市民がそれぞれのライフステージに応じた学習を選択できるように、多様な学習の機会の充実に取り組みます。	①この1年間で生涯学習を行った人の割合 (市民アンケートにより把握)
		スポーツ活動の活性化	スポーツイベントの開催等、スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実に取り組みます。	②生涯学習の充実【満足度】 (市民満足度調査により把握)
		誰もが学べる仕組みづくり	高齢者、外国人市民、障がいのある方など、学びへのアクセスが困難な人を対象とした機会の提供や、オンラインを活用した学習機会の提供により、学びやすい環境を整えます。	③生涯学習講座数、イベント参加者数 (実績により把握)
	学びでつながる地域づくり (つながる)	学びを通じたつながりの機会の創出	学びを契機とした人と人との交流や、つながりづくりを支援します。	①生涯学習で身に付けた知識や技能、経験を自分以外のために活かしたいと思う人の割合 (市民アンケートにより把握) ②地域コーディネーター会議の開催回数、人数 (実績により把握)
		学びが生かせる仕組みづくり	自己の学びを地域の活性化のために役立てたい市民のために、地域とつながるきっかけづくりに取り組みます。	
		生涯学習に関わる団体の支援	多様な生涯学習の機会を確保するために、従前から活動している団体への支援を行うとともに、新たな担い手の発掘育成に取り組みます。	
	未来へ受け継ぐ歴史・文化・芸術 (うけつぐ)	文化芸術活動の充実	市民が気軽に文化芸術に触れることができるよう、文化芸術活動の啓発と、文化芸術に触れる場の提供に組みます。	①清須市に愛着や誇りを持っている人の割合 (市民アンケートにより把握)
		歴史や文化の継承	地域にうけつがれてきた歴史や文化を後世に継承するために、文化財の保護や保存、活用に取り組みます。	②文化・芸術活動の振興【満足度】 (市民満足度調査により把握)
		地域資源を活かした学習機会の提供	地域資源を活用した生涯学習活動を推進し、ふるさとへの愛着と誇りを持つ心を育みます。	③文化財保護の推進【満足度】 (市民満足度調査により把握)
	学びを支える環境整備 (ささえる)	広報・情報発信の充実	生涯学習講座や施設の利用方法についての情報発信を充実させます。情報発信方法の工夫により、より多くの市民が情報を得られるように努めます。	④施設の利用者数、講座の開催回数 (利用実績により把握)
		生涯学習関連施設の適切な管理・運営	個人が生涯学習に取り組みやすく、また、学びを通じた人や地域とのつながりを支援する施設となるよう、適切な施設の管理・運営に取り組みます。	
		推進体制の充実	多様な生涯学習の機会の確保には、様々な主体との連携が不可欠であることから、計画を積極的に進めるための推進体制の整備と進管理体制の確立に取り組みます。	

■体系案作成にあたり、意識したこと

【基本理念】

- ・次期計画においては、生涯学習は個人の学びだけでなく、「学びを地域に還元する」こと、「人と人との交流・つながり」などの要素を盛り込んだもので3案考えました。
- ・「個性を育み、学びでつながるまち、きよす」、他の案としては「学びとつながりが紡ぐまち、きよす」、「学びの輪でひろがるまち、きよす」があります。

【基本目標】【施策の方向】

- ・「国際交流」「男女共同参画」は次期計画では、取り組みを計画に記載するのであれば、「誰もが学べる仕組みづくり」にあてはまると思います。
- ・現行計画では、「生涯学習」「文化芸術」「文化」「スポーツ」「国際交流」「男女共同参画」「青少年」といったように、分野ごとに施策を分けていたと思います。そのため、情報発信や団体支援などの取組が各施策に点在し、まとまりがない印象がありましたので、整理できればと考えます。
- ・県の「第3期愛知県生涯学習推進計画」では、施策を分野ごとに分けるのではなく、学びへの関わり方で柱立てしているため、今回の体系案においても「まなぶ」「つながる」「うけつぐ」「ささえる」の4つをテーマとして基本目標を設定しました。
- ・現行計画の取り組みを次期計画に振り分けた際に、あてはまる場所が分かるよう、色で分けています。
- ・施策の方向は、基本目標から紐づけるような内容で作成しています。

【成果指標】

市民アンケートにより把握するもの(5年ごと・10年ごと)と、実績により把握するもの(毎年)の2種類で成果を図れるように考えました。